

事務事業	38	確かな学力推進員の配置					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	01	学習・教育環境の充実					
事業内容							
目的	区費による講師を学校に派遣し、少人数指導やチーム・ティーチング指導等きめ細かな指導を行い、確かな学力を育成します。						
対象・手段	区費講師（確かな学力推進員）を小中学校全校に配置し、少人数学習指導やチーム・ティーチング指導等きめ細かな指導を実施します。						
成果（事業が意図する成果）							
学習活動の工夫ときめ細かな学習が可能となり基礎基本の定着と確かな学力が育成されます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
確かな学力推進員派遣率		確かな学力推進員を派遣した学校数			(平成19) 年度に (全校) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業 成果 指標	目標値 1	校	0.00	0.00	41.00	40.00	19年度統廃合により1校減 となっています。
	実績 1	校	0.00	0.00	41.00	40.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	確かな学力推進員 4 1 名の配置						
平成19年度	確かな学力推進員 4 0 名の配置						

部名称		教育委員会事務局			課名称		教育指導課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	115,842	112,192		
	人件費	千円	0	0	4,140	4,130		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	0	0	119,982	116,322		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	119,982	116,322		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	119,982	116,322		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.50	0.50		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>児童・生徒個々の学習上のつまずきや理解の状況を適切に把握し、それに合わせた学習内容を提示し、指導することが、個に応じたきめ細かな指導として求められています。このためには、指導と評価の一体化を図り、児童・生徒の習熟の程度が二極化している状況を把握した上で、確かな学力の育成にかかわる課題や解決の方法を研究し、指導を充実させる必要があります。そうした中で今後ますます、区費講師のニーズは高くなってきており、その効果的な活用を工夫する必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	小中学校全校に確かな学力推進員を配置することにより、各学校では、主に少人数学習指導、チーム・ティーチングを実施することができ、個に応じたきめ細かい指導を実施することができました。					
	実施の成果	3	確かな学力推進員を配置したことにより、指導の形態及び方法を工夫することができ、きめ細かな学習が可能となりました。このことにより、基礎的・基本的な学習内容を定着させ、確かな学力を育成できました。					
	効率性	2	各学校1名配置したことで、少人数学習指導等が全校で実施することができ、効率的です。					
	行政の関与	3	正規教員は東京都によりその定数が決められています。学校が少人数学習指導等を実施したくてもできない中、区費による講師を配置することで解消できるため、区の関与は必要です。					
	妥当性	2	本事業の目的は、確かな学力を育成することであり、そのためには、きめの細かい指導の実現が必要です。区費による講師の配置は、目的達成のためには妥当です。					
	施策寄与度	2	重要施策のひとつである本事業は、子どもたちの確かな学力の育成という目標達成により大きく寄与しています。					
総合評価	平成19年度の評価をBとした理由は、区費講師が全学校に配置されたことにより、学習活動の工夫ときめ細かな学習が可能となり基礎的・基本的学習内容の定着と確かな学力を育成できていることによります。 また、過去2年間の実績では、Bと評価します。その内容は、子どもの状況に応じた支援も行われ、教育的な効果を高めていることによります。 今後、本事業の効果をより上げるために、確かな学力推進員の指導力や資質の向上のため研修等を実施していく必要があります。						B 過年度評価	
							18年度 A 17年度 16年度 15年度	
改革方針							方向性	
	この事業は学習指導要領の改訂、新教育課程の実施に伴い、今後さらに重要度が増すとの理由から、第一次実行計画「14 確かな学力の育成」に引き継いで取り組んでいきます。この中で、教科、学習単元、児童・生徒に応じたより効果的な個々の学習課題に応じたきめ細かな指導にかかわり、確かな学力推進員の具体的な活用場面を研究していきます。						5 統合	